

2019 年度特別支援学校と高等学校との交流及び共同学習実施事業

交流及び共同学習における取組例

県立こやの里特別支援学校

活動の実際（単元名）

日本の年中行事を調べ、発表しよう

指導目標

- ① 両校の生徒を4班に分け、各班で日本の年中行事の1つを調べ、4回目の最後の授業でそれらをまとめて発表する。
- ② 役割分担をして、自分のできる作業を行う。

生徒の実態

2年生15名は日頃、学年を問わず生徒同士で仲良く明るい学校生活を送っているが、自分に自信を持っていない生徒が多く、高等学校の生徒と交流する場面では、なかなか自分から話しかけることができない。

事前学習

パソコンを使う調べ学習の練習として、社会の授業で都道府県について調べた。

学習活動（具体的な取組）

- ・インターネットによる検索
- ・まとめ原稿の作成
- ・模造紙に選んだ行事の絵を描く。

支援と留意点

- ・自分のできることを選んで作業を進める。
- ・困った場合は、教師ではなく高校生に相談して力を借りるようにする。

評価

- ・限られた回数（4回）だったが、一緒に作業を進めながら交流を深めた。
- ・与えられた仕事に対して前向きに取り組むことができた。

活動の様子



両校の生徒が相談している場面です。



役割分担（パソコン入力、絵を描く等）をし、協力して取り組んでいる場面です。

事後学習

交流授業の最終日（4回目）の各グループの発表後に、各グループでがんばった点、良かった点、改善すべき点について話し合った。分教室生徒も自分の意見を述べることでできていた。

成果と課題

- ・お互いのことを考えながら、活動に取り組むことができ、普段とは違う刺激があった。
- ・長時間をかけて交流をしていくと、もっとお互いのことを知ることができ、意見を言いやすかったのではないかと。
- ・リーダー的生徒がいるグループとそうでないグループとで交流や中身に差がでた。